

■米国：PJMの提出した入札上限価格引き上げについて賛否両論

2015年11月23日付の業界誌によると、PJMが入札上限価格を1,000ドル/MWhから2,000ドル/MWhへ引き上げる提案を行っているが、これについて議論が起こっている。PJMによる入札上限価格引き上げ提案は、2014年1月の記録的な寒波の影響で天然ガス価格が高騰し、電力スポット価格が入札上限価格を超過したことを受けてのものである。この提案について、「FERCは市場の状況を勘案したうえで長年変更していない入札上限価格の引き上げを承認すべきである」とする意見がある一方で、「安易な引き上げは、隣接するNYISOとの価格差に起因する問題が発生する可能性がある」などの意見もあり、議論が続いている。これについてFERCは、今冬は暖冬が予想されることから、入札上限価格の引き上げを急ぐ必要はないとの見解を示している。